

第7週（令和7年2月10日から2月16日まで）の集計結果

【八王子市内の今週の傾向】

○感染性胃腸炎は、定点あたり 14.0 人で、先週（第6週 定点あたり 12.5 人）より増加しました。施設からの集団発生の報告も増えています。感染経路は経口・飛沫感染です。

○伝染性紅斑は、定点あたり 1.5 人と、先週（第6週 定点あたり 2.4 人）より減少しましたが、依然として、警報レベル（終息基準値：定点あたり 1.0 人）が続いています。感染経路は接触・飛沫感染です。

○インフルエンザは、小児科定点あたりの患者数は 6.2 人と、先週（第6週 定点あたり 5.7 人）より増加しましたが、インフルエンザ定点あたりの患者数は 1.8 人と、先週（第6週 定点あたり 3.5 人）より減少しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり 4.0 人で、先週（第6週 定点あたり 2.1 人）より増加しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○ORS ウイルス感染症は、定点あたり 1.2 人で、先週（第6週 定点あたり 2.0 人）より減少しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○新型コロナウイルス感染症は、小児科定点あたり 3.7 人（先週：第6週 定点あたり 5.5 人）、新型コロナウイルス定点あたり 4.1 人（先週：第6週 定点あたり 5.1 人）と、先週より減少しました。感染経路は接触・飛沫・エアロゾルによる感染です。

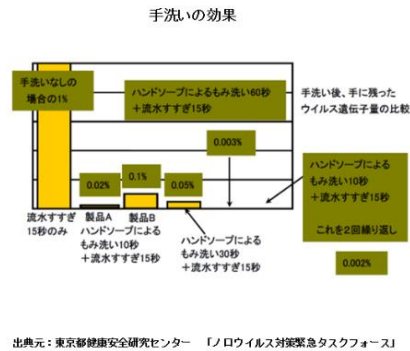
○百日咳の報告が3件ありました（7歳男児、10代男性、20代女性）。

☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

- ・ 第6週 : 令和7年2月3日から2月9日まで
- ・ 第7週 : 令和7年2月10日から2月16日まで
- ・ 小児科定点 : 八王子市内 小児科 13ヶ所
- ・ インフルエンザ定点 : 八王子市内 小児科 11ヶ所、内科 7ヶ所
- ・ 新型コロナウイルス定点 : 八王子市内 小児科 11ヶ所、内科 7ヶ所
- ・ 東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関 : 都内 43ヶ所

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。



【東京都の感染症発生状況】

■東京都感染症情報センター

・「東京都の感染症発生状況」

https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/international_ja/

○インフルエンザに関する情報

■東京都感染症情報センター

・「東京都インフルエンザ情報 第20号」（2月14日発行）

https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/flu/2024/Vol27No20_.pdf

・「インフルエンザの流行状況（東京都 2024-2025 年シーズン）」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/flu/flu/>

○感染性胃腸炎に関する情報

■東京都感染症情報センター

・「ひとくち感染症情報 感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の季節到来！」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/gastro/hitokuchi-joho.pdf?20241205>

・「感染性胃腸炎の流行状況（東京都 2024-2025 年シーズン）」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/gastro/gastro/>

■東京都保健医療局

・「感染性胃腸炎にご注意ください！」（12月5日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/12/05/03.html>

○伝染性紅斑に関する情報

■東京都感染症情報センター

・「ひとくち感染症情報 伝染性紅斑が増えています！」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/fifth-disease/hitokuchi-joho.pdf?20241121>

・「伝染性紅斑の流行状況」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/fifth-disease/fifth-disease/>

■東京都保健医療局

・「伝染性紅斑が流行、都内で警報基準に達する」（11月21日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/11/21/15.html>

○マイコプラズマ肺炎に関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「ひとくち感染症情報 マイコプラズマ肺炎ってどんな病気??」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/mycoplasma/hitokuchi-joho.pdf?20240926>

■東京都保健医療局

- ・「マイコプラズマ肺炎の報告数が過去最多となりました」（9月26日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/09/27/09.html>

○新型コロナウイルスに関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について」

（一般都民向け情報）

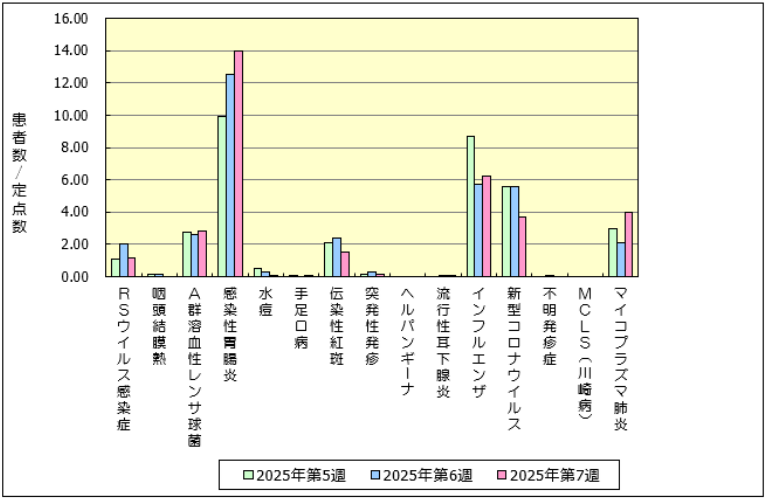
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/2019-ncov/>

（医療関係者向け情報）

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/medical/covid-19/>

第7週（令和7年2月10日から2月16日まで）の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、
全数報告疾患となったため、発生状況については、風しん・麻疹・百日咳発生状況をご覧ください。



第7週疾患毎発生状況グラフ

	2025年 第2週	2025年 第3週	2025年 第4週	2025年 第5週	2025年 第6週	2025年 第7週	第1週からの 合計
RSウイルス感染症	5↑	4↓	4→	13↑	26↑	15↓	68
咽頭結膜熱	2↑	0↓	4↑	2↓	2→	0↓	10
A群溶血性レンサ球菌	18↑	26↑	29↑	33↑	34↑	37↑	180
感染性胃腸炎	81↑	78↓	135↑	119↓	163↑	182↑	774
水痘	4↓	5↑	1↓	6↑	4↓	1↓	27
手足口病	2→	1↓	1→	1→	0↓	1↑	8
伝染性紅斑	49↑	37↓	31↓	25↓	31↑	20↓	201
突発性発疹	6↑	5↓	3↓	2↓	4↑	2↓	22
ヘルパンギーナ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0
流行性耳下腺炎	0→	0→	0→	0→	1↑	1→	2
インフルエンザ	541↑	290↓	193↓	104↓	74↓	81↑	1709
新型コロナウイルス	41↑	43↑	64↑	56↓	61↑	41↓	322
不明発疹症	0→	0→	0→	0→	1↑	0↓	1
MCLS（川崎病）	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0
マイコプラズマ肺炎	45↑	24↓	35↑	36↑	27↓	52↑	243

第7週疾患毎発生状況表

第7週	RS ウイルス	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス	不 明 発 疹 症	M C L S （ 川 崎 病 ）	ス マ 肺 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎
～5ヶ月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
1歳	8	0	2	22	0	0	2	2	0	0	6	2	0	0	0	4
2歳	3	0	0	16	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	1
3歳	2	0	1	15	0	0	2	0	0	0	3	2	0	0	0	1
4歳	0	0	5	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳	0	0	6	16	0	1	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0
6歳	0	0	6	10	0	0	3	0	0	0	4	1	0	0	0	0
7歳	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
8歳	0	0	5	9	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
9歳	0	0	3	15	0	0	1	0	0	0	4	3	0	0	0	1
10～14歳	0	0	6	26	1	0	1	0	0	0	7	6	0	0	0	2
15～19歳	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	5
20歳以上	0	0	2	14	0	0	0	0	0	0	41	23	0	0	0	38
合計	15	0	37	182	1	1	20	2	0	1	81	41	0	0	0	52

第7週年齢別発生状況表

※インフルエンザは、「10～12歳」「13～14歳」の区分でしたが、
令和5年第16週より、国への報告に合わせ、「10～14歳」の一区分となりました。